

調査票 1

都道府県・政令指定都市名	04 宮城県
--------------	--------

1 男女共同参画・女性問題に関する事務を総合的に所管する組織

局 部 課 (室) 名	環境生活部 共同参画社会推進課
担 当 職 員 数	8 人 (専任 8 人、兼任 0 人)

2 国の「男女共同参画推進本部」に相当する本庁の連絡会議(推進体制)

名 称	宮城県男女共同参画施策推進本部
設 置 年 月 日 ・ 根 拠	平成 11 年 7 月 1 日 根拠: 宮城県男女共同参画施策推進本部設置要綱
長 の 役 職	知事

3 男女共同参画に関する諮問機関、懇談会等

会 議 の 名 称	宮城県男女共同参画審議会
設 置 年 月 日	平成 13 年 8 月 1 日
構 成 員	12 人 (女性 8 人、男性 4 人)

4 男女共同参画に関する計画

計 画 期 間	平成 23 年 4 月 ~ 29 年 3 月		
名 称	宮城県男女共同参画基本計画(第2次)		
改定・見直しの予定時期	平成 29 年 3 月 日		— 未定の場合は〇をつけてください。
女性活躍推進法の推進計画と一体である	<input type="radio"/>	※いずれか1つに〇をつけてください。	
女性活動推進法の推進計画と別に作成	<input type="radio"/>		

5 男女共同参画に関する条例

有の場合	名 称	宮城県男女共同参画推進条例		
	公 布 日	平成 13 年 7 月 5 日		
	施 行 日	平成 13 年 8 月 1 日		
	改 正 日	平成 年 月 日		
	改 正 内 容			
	改正が予定されている場合、改正予定時期:	平成 年 月		
無の場合 ※ どちらかに〇をつけてください。	制定等について検討中(あれば、具体的に)			
	特に検討していない			

調査時点コードを以下より選択してください

6 審議会等委員への女性の登用

	1:平成28年4月1日	2:平成28年5月1日	3:その他:平成 年 月 日
目 標 値	平成 28 年度まで 40 %	平成 年度まで %	
根 拠	「宮城県男女共同参画基本計画(第2次)」平成23年3月15日策定		
目標設定の対象である審議会等の範囲	法律、条例及び要綱等に基づき設置される審議会等(開催が不定期・臨時的なもの等を除く。県職員(あて職)は算定基礎から除く。)		
目標設定の対象である審議会等における登用状況	調査時点コード	1	審議会等数(113)うち女性委員を含む審議会等数(110) 延総委員等数(1,364)延女性委員等数(508) 女性比率(37.2)
	調査時点コード	1	審議会等数(143)うち女性委員を含む審議会等数(104) 延総委員等数(1,740)延女性委員等数(552) 女性比率(31.7)
地方自治法(第202条の3)に基づく審議会等における登用状況	調査時点コード	1	審議会等数(37)うち女性委員を含む審議会等数(36) 延総委員等数(874)延女性委員等数(262) 女性比率(30.0)
法律又は政令により地方公共団体に置かなければならない審議会等における登用状況(*)	調査時点コード	1	審議会等数(9)うち女性委員を含む審議会等数(7) 延総委員等数(69)延女性委員等数(12) 女性比率(17.4)
地方自治法(第180条の5)に基づく委員会等における登用状況	調査時点コード	1	審議会等数()うち女性委員を含む審議会等数() 延総委員等数()延女性委員等数() 女性比率()
目標値以外の目標設定	なし		
女性登用方針	人材名簿作成の有無	有 <input type="radio"/> (公表 <input type="radio"/> ・非公表 <input type="radio"/>) ・無 <input type="radio"/> 作成予定有	
	人材名簿が有る場合	掲載人数	312 人 (平成 28 年 4 月現在)
	そ の 他	人材育成事業の実施の有無 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> ・無 <input type="radio"/> 委員の公募 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> ・無 <input type="radio"/> そ の 他 ()	

注(*) 平成28年3月時点で法律又は政令により設置義務がある審議会のうち内閣府が把握したもの(参照:別表1(都道府県)、別表2(政令指定都市))

7 女性公務員の採用・登用状況

(1)-1 管理職の在職状況

		1:平成28年4月1日		その他:平成 年 月 日									
	管理職総数(※)	女 性 管 理 職 の 内 訳											
		(人)	うち女性管理職数(人)	女性比率(%)	部局長相当職(人)	うち女性数(D)	女性比率	次長相当職(人)	うち女性数(F)	女性比率	課長相当職(人)	うち女性数(H)	女性比率
	(A)=(C+E+G)	(B)=(D+F+H)	(B/A)	(C)	(D)	(D/C)	(E)	(F)	(F/E)	(G)	(H)	(H/G)	
本庁	計	426	21	4.9	21	2	9.5	92	5	5.4	313	14	4.5
	うち一般行政職	357	20	5.6	19	2	10.5	74	4	5.4	264	14	5.3
支庁・地方事務所等	計	417	40	9.6	12	0	0.0	48	1	2.1	357	39	10.9
	うち一般行政職	294	21	7.1	11	0	0.0	33	1	3.0	250	20	8.0
全体	計	843	61	7.2	33	2	6.1	140	6	4.3	670	53	7.9
	うち一般行政職	651	41	6.3	30	2	6.7	107	5	4.7	514	34	6.6
再掲	警察関係	108	1	0.9	1	0	0.0	22	0	0.0	85	1	1.2
	教育委員会	94	14	14.9	2	0	0.0	10	1	10.0	82	13	15.9

注(※) 管理職総数の欄は自動計算されますので入力しないでください。

(1)-2職務上の地位別職員在職状況

1:平成28年4月1日 その他: 平成 年 月 日

Table with columns for position (課長補佐相当職, 係長相当職), gender (うち女性数), and ratio (女性比率). Rows include 本庁, 支庁・地方事務所等, 全体, and 再掲 categories.

(1)-3新規昇任者数

平成27年4月1日～28年3月31日

Table with columns for position (課長相当職, 課長補佐相当職, 係長相当職), gender (うち女性数), and ratio (女性比率). Rows include 本庁, 支庁・地方事務所等, 全体, and 再掲 categories.

(1)-4昇任・昇格等登用の考慮要素となる事項

考慮要素としている事項すべてに○を記入してください。

Table for recording consideration factors for promotion. Columns include: 勤務成績, 昇任試験 (面接のみ, それ以外), 昇格試験 (面接のみ, それ以外), 部局等の推薦, 経年数, 遠隔地での長期研修 (4週間以上), 遠隔地での勤務経験, 本人の希望, and その他 (具体的にご記入ください).

(1)-5昇任・昇格試験の受験者数

平成27年4月1日～28年3月31日

Table showing the number of candidates for promotion and grade exams. Columns: 昇任試験, 昇格試験, 全受験者数(人), 女性受験者数(人), 女性受験率(%).

(2)女性公務員の採用状況

平成27年4月1日～28年3月31日

Table showing female public employee recruitment status. Columns: 総数(人), うち女性数(人), 女性比率(%). Rows include 全体 and うち上級 (うち一般行政職, うち警察関係).

8 男女共同参画・女性のための総合的な施設の設置

※複数の施設がある場合、2件目以降は、次のシート(調査票(2))に記載してください。

Form for recording comprehensive facilities for gender equality. Columns: 名称, 設置年月日, 変称・通称, 施設形態 (単独施設, 複合施設), 所在地等 (郵便番号, 住所, 電話番号, FAX番号, ホームページ), 管理・運営主体 (施設管理, 事業運営), 職員数 (常勤, 非常勤, 予算額), 主な事業 (広報啓発, 講座, 相談事業, etc.).

9 男女共同参画・女性関係事業を推進するための基金・財団の設立(施設の管理運営の実施団体を含む。)

名 称				基金・基本財産額	千円
設置年月日	平成	年	月	日	出資者

10 地方公共団体と民間団体(女性団体等)との連携/民間団体(女性団体等)のネットワーク

各種女性団体連絡協議会等の有無	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 名称等: 宮城県各種女性団体連絡協議会	加盟団体数	6
地方公共団体からの助成・委託事業実施の有無	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	会 員 数	11349
活 動 内 容 ※実施しているものに○をつけてください。	<input type="radio"/> 1. 定例会議(情報交換会等)の開催 <input type="radio"/> 2. 機関誌の発行 <input type="radio"/> 3. 広報啓発パンフレット作成 <input type="radio"/> 4. その他 { 内容: 女性大会(大会決議・表彰・講演会) }		

11 市町村との連携及び市町村への指導・助言状況(都道府県) ※該当するものに○をつけてください。

<input type="radio"/> 1. 担当者連絡会議の開催 <input type="radio"/> 2. 市町村職員研修会の開催 <input type="radio"/> 3. 市町村アドバイザー養成講座等の開催 <input type="radio"/> 4. 関係情報の収集提供 <input type="radio"/> 5. 審議会等女性登用の働きかけ <input type="radio"/> 6. 補助金等の交付 { 名 称 : 交付先 : } <input type="radio"/> 7. その他 { 内容 : }

12 職員研修の実績状況 ※実施しているものに○をつけてください。

(1) 男女共同参画・女性問題に関する職員研修の実施

<input type="radio"/> 1. 職員向け男女共同参画・女性問題についての講演会、研修会等を実施 <input type="radio"/> 2. 一般職員研修に、男女共同参画・女性問題の講義等を組み入れ <input type="radio"/> 3. 国、民間等が行う男女共同参画・女性問題に関する研修に職員を派遣 <input type="radio"/> 4. 男女共同参画の観点からの防災に関する研修の実施

(2) 女性職員の研修受講への配慮

<input type="radio"/> 1. 女性職員を対象とした能力開発や管理職登用のための研修を実施 <input type="radio"/> 2. 研修受講職員の男女比を配慮 <input type="radio"/> 3. その他 { 内容: }
--

13 担当局(部)課(室)所管の男女共同参画・女性関係予算

事 項	27年度予算 (千円)	28年度予算 (千円)	備 考
関係予算総額(施設整備費を除く)	21,036	18,456	
上記関係予算が一般会計予算総額に占める割合	0.001423 %	0.001343 %	
男女共同参画・女性のための施設整備費	0	0	

14 公共調達における男女共同参画及びワーク・ライフ・バランス項目の設定状況 ※該当するものに○をつけてください。

項目の設定	国の取組に準じた設定
1 公共工事の競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	○
2 物品の購入等の競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	
3 総合評価落札方式の一般競争入札を適用している場合における男女共同参画等の項目の設定	
4 その他の公共調達における男女共同参画等項目の設定 (○の場合は(1)~(5)の該当項目に回答(複数回答可)してください。)	
(1) 指名競争入札又は随意契約により物品調達を行う際に認証している企業からの優先調達	
(2) 清掃、設備保守業務等の競争参加資格審査における項目の設定	
(3) 指定管理者公募選定における評価項目の設定	
(4) プロポーザル方式における評価項目の設定	
(5) その他(内容:)	

↓ 上記1~4で「○」の場合は、下記の「具体的項目」で該当する項目欄に○を付けてください。

	1 公共工事の競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	2 物品の購入などの競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	3 総合評価落札方式の一般競争入札を適用している場合における男女共同参画等の項目の設定	4 その他の公共調達における男女共同参画等の項目の設定
① 女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定、次世代育成支援対策推進法(以下「次世代法」という。)に基づく「くるみん」認定、「プラチナくるみん」認定又は青少年の雇用の促進等に関する法律(以下「若者雇用促進法」という。)に基づく「ユースエール」認定を取得				
② 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(以下「女性活躍推進法」という。)に基づく一般事業主行動計画の策定(努力義務企業のみ対象)				
③ 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定(努力義務企業のみ対象)				
④ 地方公共団体が行う男女共同参画等に関する企業の認定・認証等を取得				
⑤ 役員に占める女性割合に関する項目				
⑥ 管理職に占める女性割合に関する項目				
⑦ 役員や管理職への女性の登用促進のための取組(ポジティブ・アクション、数値目標の設定等)				
⑧ 仕事と育児・介護を両立するための取組(法定以上の育児・介護休業制度等)				
⑨ ノー残業デーの設定など労働時間縮減に向けた取組				
⑩ 短時間正社員制度の導入				
⑪ 男性の育児・家事への参画促進に向けた取組				
⑫ ワーク・ライフ・バランス関連表彰の受賞、認証実績(①~④を除く)	○			
⑬ その他				

15 男女共同参画等を推進している企業の登録・認定・認証、表彰制度の状況

	企業の登録・認定・認証制度	企業の表彰制度
実施の有無	○	○
1 女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定、次世代法に基づく「くるみん」認定、「プラチナくるみん」認定又は若者雇用促進法に基づく「ユースエール」認定を取得		
2 女性活躍推進法又は次世代法に基づく一般事業主行動計画の策定(努力義務企業のみ対象)		
3 役員に占める女性割合に関する項目		
4 管理職に占める女性割合に関する項目	○	○
5 役員や管理職への女性の登用促進のための取組	○	○
6 その他「登用促進等」に関する項目	○	○
7 仕事と育児・介護を両立するための取組	○	○
8 ノー残業デーの設定など労働時間縮減に向けた取組		
9 短時間正社員制度の導入		
10 男性の育児・家事への参画促進に向けた取組	○	○
11 ワーク・ライフ・バランス関連表彰の受賞、認証実績(1、2を除く)		
12 その他		

→ 「企業の登録・認定・認証制度」有りの場合、具体的名称: 女性のチカラを活かす企業認証制度

→ 「企業の表彰制度」有りの場合、具体的名称: いきいき男女+こにこ子育て応援企業表彰(上記の認証企業の中から特に優れた取組を行っている企業を選定会議において選定し、表彰するもの)

16 地域における女性活躍推進連携体制の構築状況

1 ある	○	→	女性活躍推進法第23条の「協議会」に該当する場合、その具体的名称	みやぎの女性活躍促進連携会議
2 現在はないが、今後検討する			その他の場合、その具体的名称	

17 男女共同参画に関するデータ集(白書等)の作成状況

住民の状況や活動を男女別に明らかにすることを主たる目的とするデータ集(白書、データブック等)の公表	○ 有 無	名称 宮城県における男女共同参画の現状及び施策に関する年次報告
公表周期		1 年 不定期
公表主体 ※該当するものに○をつけてください。	○	1. 男女共同参画・女性問題に関する事務を総括的に所管する課(室) 2. 統計情報に関する事務を総括的に所管する課(室) 3. 男女共同参画・女性のための総合的な施設の指定管理者 4. その他)

18 平成28年度実施予定事業

※該当する予定事業がない場合は、記入欄に記入しないでください。

名 称	事 業 内 容 等	参加予定者数	時 期
1. 広報啓発	一般向けパンフレットを作成・配布。 また、県内の中学生及び高校生等を対象としたパンフレットを作成・配布し、若年期からのDV防止への意識啓発を行い、未然防止を図る。		通年
・パンフレットの配布・作成			
・パンフレットの配布・作成			
・			
・みやぎ県政だより(県広報紙)及びパンフレット等による広報啓発	みやぎ男女共同参画相談室等について、広く県民への周知を図る。		随時
・			
2. 講座			
・デートDV防止講座	県内の中・高校及び大学等各種学校が実施するデートDV講座に対して講師の派遣を行い、若い世代への意識啓発を図る。	約4,000名 (昨年度33校で実施)	通年
・			
・被災地におけるDV被害者等サポート講座	東日本大震災後のDV被害の増加や深刻化の懸念があることから、なお一層の防止対策及び支援の充実を図るため、被害の大きかった沿岸市町等において、支援者等に対する講座を実施する。(全31回)	約1,000名	5月～2月
・			
・男女共同参画・多様な視点からの防災対策実践講座	東日本大震災の教訓を活かし、男女共同参画の視点での避難所運営や防災対策等についての講座を開催し、平常時からの地域防災力の向上を目的に防災・減災対策について共通理解を図る。(7回開催予定)	約100名	8月～12月
・			
3. 相談事業			
・夜間・休日DV電話相談事業	「みやぎ夜間・休日DVほっとライン」を開設し、DV被害等で悩む当事者に対する適切な指導・助言を行う。		通年
・被災地におけるDV被害者等サポート事業	東日本大震災後のDV被害の増加や深刻化の懸念があることから、なお一層の支援の充実を図るため、県内2ヶ所において、当事者による話し合いの場や個別相談を実施する。要保護女子の早期発見、相談に応じるとともに配偶者からの暴力に関する相談を受け付ける。	約100名	5月～3月
・			
・女性相談員設置事業	男女共同参画に関する苦情、各種相談に男女共同参画相談員が電話又は面接(予約)で応じる。		通年
・みやぎ男女共同参画相談室(一般相談)	女性弁護士による専門相談(事前予約制)		平日
・みやぎ男女共同参画相談室(法律相談)	男性相談員による男性向け相談		月1回
・みやぎ男女共同参画相談室(男性相談)	被災地における男女共同参画に関する悩み・配偶者、パートナーからの暴力に関する相談について沿岸地域6カ所で面接相談に応じる。		毎週水曜日
・東日本大震災 女性のための面接相談	【内閣府共催事業】		各月の 開催日による
・			
・			
4. 情報収集・提供			
・インターネットによる情報提供	男女共同参画に関する国や関係機関等の情報を収集し、県のホームページに掲載。		随時
・			
5. 苦情処理			
・みやぎ男女共同参画相談室(一般相談)	男女共同参画に関する苦情、各種相談に男女共同参画相談員が電話又は面接(予約)で応じる。		平日
・			
・県政相談員	県政への苦情申立対応等を行う。		通年
・			
6. 交流促進			
・			
・			
7. 企業・NPO法人との連携・働きかけ			
・被災地におけるDV被害者等サポート事業	当該事業において、県内の民間団体へ事業を委託し、県内市町村及び関係機関との連携を図る。		通年
・			
・夜間・休日DV電話相談事業	当該事業において、県内の民間団体へ事業を委託し、県内市町村及び関係機関との連携を図る。		通年
・			
・女性のチカラを活かす企業認証制度	女性の登用等、一定基準を満たす企業を認証		通年
・			
8. 国際交流・海外派遣事業			
・			
・			
9. 調査研究			
・			
・			
10. その他			
・婦人保護関係者研修会	・DV被害者支援に関する研修会を実施する。	20名	11月
・婦人保護事業関係機関ネットワーク連絡協議会	・婦人保護事業の現状と課題についての協議等を行う。	300名	5月～3月
・市町村等職員研修会	・市町村等職員の資質向上を図る。	100名	10月
・配偶者暴力相談支援センター設置促進のための研修会	・市町村における配偶者暴力相談支援センター設置を推進するための研修会を実施する。	100名	11月
・配偶者暴力相談支援センター連絡会議	・県内の配偶者暴力相談支援センター間の意見交換等を行う。	20名	10月
・自立支援金貸付事業	・一時保護所及び婦人保護施設に入所中のDV被害者の自立を促進するため、費用の貸付を実施する。		通年
・みやぎの女性活躍促進連携会議	・女性の活躍による地域経済の活性化等のため、県内の経済団体、関係団体、行政等が連携・協力し、一体となって女性が活躍しやすい環境の整備を推進するための普及啓発事業(女性の活躍促進に向けた取組宣言・各種イベント開催等)を実施する。		通年
・			
・			

19 都道府県議会の議員の両立支援体制に関する調査

※該当する時点の番号に○をつけてください。

1:平成28年4月1日 その他: 平成 年 月 日

議 会 名	宮城県議会	
問1. 議員の出産を欠席事由として明記した規定(産休や欠席の事由として出産の文言が明示されたもの)がありますか。1～3のいずれか一つを選択してください。	1.欠席事由として明記した規定がある。 2.欠席事由として明記した規定はないが、運用上出産に伴う欠席を正当な欠席事由と認めている。 3. その他(欠席の例がない, 不明等)	1
問2. 問1. で、1を選択した場合にお伺いします。「欠席事由として明記した規定」とは、どのような規定ですか。1～3のうちいずれか一つを選択してください。 ※標準会議規則については下記を参照してください ※標準会議規則と、全く同じでなくても、条文の構造が同じであれば「同様」を選択してください。	1.標準都道府県議会会議規則と同様。 2.標準市議会会議規則又は、標準町村議会会議規則と同様。 3.その他	1
【参考】 標準都道府県議会会議規則 第二条 議員は、公務、疾病、出産その他の事故のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに議長に届け出なければならない。 標準市議会会議規則 第2条 ② 議員は、出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる。 標準町村議会会議規則 第二条 2 議員が出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる。		
問3. 議会の欠席事由として、議員の仕事と生活の両立の観点からの事由(例:配偶者の出産、育児、介護等)を明記した規定がありますか。1～3のうちいずれか一つを選択してください。 ※()内は例示であり、これ以外の事由でも仕事と生活の両立の観点から明示した規定があれば1. を選択してください。 ※出産に伴う欠席と同じ条文中で明記している場合には、本問の回答にも、「規定がある」と回答してください。	1.明記した規定がある。 2.明記した規定はないが、運用上仕事と生活の両立のための欠席を正当な欠席事由と認めている。 3. その他	2
問4. 問3で1を選択した場合にお伺いします。当該規定(規則、条例等)の該当部分の規定を記入(または添付)してください。 ↓ ※ 条 項 号まで記入してください。		
規 則 名		
該当部分の条文(本文)を記入又は以下に添付してください。		

以下のデータの調査時点をお答えください。(該当する時点に○をつけ、その他の場合は調査年月日も記入してください。)

平成28年4月1日現在

平成28年5月1日現在

その他：平成 年 月 日現在

1 都道府県における首長等の状況 ※在任期間(任期)は予定を記入してください。

知事 ※該当する方に○をつけてください	女性 <input type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 任期:平成 25 年 11 月 21 日 ~ 平成 29 年 11 月 # 日
副知事	2 人 (女性 0 人、男性 2 人)

2 法律又は政令により地方公共団体に置かなければならない審議会等の委員数等

*平成28年4月1日現在で設置義務のある審議会等のうち、28年3月に内閣府が把握したものを掲載しています。
新たに追加・変更・廃止等がありましたら、下記の表に追記のうえ、委員数等を記入してください。

審議会等名 (現在設置していないもの、審議会委員の任命を行っていないものには番号の前の欄に×を記入してください)	委員総数(人)	うち女性委員数(人)	女性委員の割合(%)	備考	
1 都道府県防災会議(会長を含む)	53	5	9.4		
都道府県防災会議(委員のみ)	52	5	9.6		
内 訳	1号 当該都道府県の区域の全部又は一部を管轄する指定地方行政機関の長又はその指名する職員	16	0	0.0	
	2号 当該都道府県を管轄区域とする陸上自衛隊の方面総監又はその指名する部隊若しくは機関の長	1	0	0.0	
	3号 当該都道府県の教育委員会の教育長	1	0	0.0	
	4号 警視総監又は当該都道府県の道府県警察本部長	1	0	0.0	
	5号 当該都道府県の知事がその部内の職員のうちから指名する者	11	1	9.1	
	6号 当該都道府県の区域内の市町村の市町村長及び消防機関の長のうちから当該都道府県の知事が任命する者	4	1	25.0	
	7号 当該都道府県の地域において業務を行う指定公共機関又は指定地方公共機関の役員又は職員のうちから当該都道府県の知事が任命する者	14	0	0.0	
	8号 自主防災組織を構成する者又は学識経験のある者のうち当該都道府県の知事が任命する者	4	3	75.0	
2 国土利用計画地方審議会	13	6	46.2		
3 土地利用審査会	7	3	42.9		
4 都道府県交通安全対策会議	23	2	8.7		
5 自然環境の保全に関する審議会その他の合議制の機関(旧 自然環境保全審議会) ※6の審議会と統合している場合は6に人数を記入。当欄は空欄とし、備考欄に「6と統合」と記入する。	31	9	29.0		
6 環境の保全に関する審議会その他の合議制の機関(旧 環境審議会)	40	12	30.0		
7 精神医療審査会	40	8	20.0		
× 8 都道府県生活衛生適正化審議会				案件の都度任命	
9 都道府県医療審議会	25	9	36.0		
10 准看護師試験委員	10	7	70.0		
× 11 麻薬中毒審査会				案件の都度任命	
12 地方社会福祉審議会	42	10	23.8		
13 障害者に関する審議会その他の合議制の機関	20	6	30.0	宮城県障害者施策推進協議会	
14 国民健康保険審査会	9	3	33.3		
15 都道府県農業共済保険審査会	3	0	0.0		
16 都道府県森林審議会	11	5	45.5		
17 都道府県建設工事紛争審査会	15	1	6.7		
18 建築審査会	7	3	42.9		
19 都道府県建築士審査会	6	2	33.3		
20 都道府県都市計画審議会	20	5	25.0		
21 開発審査会	7	3	42.9		
22 私立学校審議会	14	5	35.7		
23 石油コンビナート等防災本部	32	2	6.3		
24 公害健康被害認定審査会	12	3	25.0		
× 25 窒素酸化物総量削減計画又は粒子状物質総量削減計画に定められるべき事項について調査審議する協議会(旧 総量削減計画策定協議会)					
× 26 都道府県児童福祉審議会					
27 地方港湾審議会	23	3	13.0		
× 28 土地区画整理審議会					
29 教科用図書選定審議会	20	10	50.0		
30 介護保険審査会	18	9	50.0		
31 道府県固定資産評価審議会	12	2	16.7		
32 感染症の診査に関する協議会	18	6	33.3		
33 警察署協議会	202	98	48.5		
34 土地収用事業認定審議会	7	4	57.1	宮城県事業認定審議会	
35 住民基本台帳法 本人確認情報の保護に関する審議会	5	2	40.0	宮城県個人情報保護審査会	
36 国民保護協議会	61	3	4.9		
37 地方独立行政法人評価委員会	22	6	27.3		
× 38 市街地再開発審査会					
× 39 都道府県職員委員会					
× 40 自然再生協議会					
41 審議会その他の合議制の機関(※公益認定等)	8	1	12.5	宮城県公益認定等委員会	
42 後期高齢者医療審査会	9	3	33.3		
43 留置施設視察委員会	5	3	60.0		
× 44 傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に関する基準の協議並びに実施基準に基づく傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に係る連絡調整を行うための協議会					
45 指定難病審査会	18	2	11.1		
× 46 小児慢性特定疾病審査会					
47 宮城県行政不服審査会	6	1	16.7		
合 計	874	262	30.0		
女性委員0の審議会数	1				

3 地方自治法(第180条の5)に基づく委員会等の委員数

	委員会等名	委員総数 (人)	うち女性委員数 (人)	女性委員の割合 (%)	備考
1	教育委員会	6	2	33.3	
2	選挙管理委員会	4	1	25.0	
3	人事委員会	3	0	0.0	
4	監査委員	4	2	50.0	
5	公安委員会	5	1	20.0	
6	都道府県労働委員会	15	2	13.3	
7	収用委員会	7	2	28.6	
8	海区漁業調整委員会	15	0	0.0	
9	内水面漁場管理委員会	10	2	20.0	
	合 計	69	12	17.4	
	女性委員0の委員会数	2			